



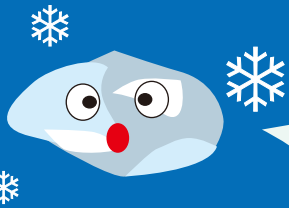
雪と氷の研究者に インタビュー



ヌアスムグリ・アリマスさん

国立極地研究所 気水圏研究グループ

(2018年7月現在)



どうして雪、氷の研究に興味をもったのですか？
また雪と氷の魅力を教えてください。

- 白い世界はきれいですね。雪は短い時間に風景を変えてしまいます。寒いけれど、その美しさは、ずっと大きな魅力です。
- 白い雪の世界も、よく見ると違いがあります。降ってくる雪の結晶、地面でどんどんかわる積雪、そして非常に大きなスケールで気候を変えてしまいます。
- 私は、中国の内陸の砂漠が広がる地域のそばから来ました。砂漠と雪の野原で風景がどう作られるのか、またそこを移動する旅にも共通点があります。



ご自身の研究内容を教えてください。

- 雪や氷の観測方法を考えています。伝統的には、手に触れて、ルーペで拡大して、温度を測ったり重さをはかったりして、時間をかけて丹念に調べますが、それを離れたところから一瞬で調べてしまえる、光や電磁波を使った方法を考えています。
- その方法を使って、山岳域や北極、南極の陸域や、海氷域で調査を行います。



子どもたちにむけてメッセージをお願いします。

雪の白さや美しさに感動してください。まずは、雪の野原に駆け込んで、その白さや、柔らかさや、重さ、冷たさの違いを自分で体験してください。それは寒くつらいことでなく、大変楽しいと思います。十分楽しんだら、朝、昼、夕と雪の白さや重さ、柔らかさが変わっていく、世界の不思議を考えてください。そして雪の中のミクロの世界ものぞいてみてください。

